

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-1-3		事業名	アイヌ伝統文化活動推進事業			
担当	市民まちづくり局市民生活部アイヌ施策課 綿貫 211-2277						
全体計画							
事業内容	1 交流センター月間イベント アイヌ文化を楽しもう!等			<年度別の事業内容>			
	2 小中高校生団体体験プログラム アイヌ民族伝統の歌、踊り、民族楽器演奏、展示解説等			(19~22年度) 交流センター月間イベント 小中高校生団体体験プログラム アイヌ文化体験講座 インカルシベ・アイヌ民族文化祭			
事業内容	3 アイヌ文化体験講座 アイヌ文様の刺繍講座等						
	4 インカルシベ・アイヌ民族文化祭 アイヌミュージックコンサート、パネル展等						
以上の事業を実施し、アイヌ民族の伝統的な生活様式や文化などを広く市民に紹介して、アイヌ伝統文化の保存・継承・振興を図るとともに、市民との相互理解を図る。							
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	1 交流センター月間イベント 事業内容:アイヌ文化を楽しもう!等 場所:札幌市アイヌ文化交流センター 量・規模・件数等:7回、1015人参加			1 交流センター月間イベント 事業内容:モマウタチェブ・イノミ等 場所:札幌市アイヌ文化交流センター 量・規模・件数等:6回			
事業内容・量・場所・規模・件数等	2 小中高校生団体体験プログラム 事業内容:アイヌ民族伝統の歌、踊り、楽器演奏、展示解説等 場所:札幌市アイヌ文化交流センター 量・規模・件数等:28団体、1467人参加			2 小中高校生団体体験プログラム 事業内容:アイヌ民族伝統の歌、踊り、楽器演奏、展示解説等 場所:札幌市アイヌ文化交流センター 量・規模・件数等:29団体			
	3 アイヌ文化体験講座 事業内容:アイヌ文様の刺繍講座等 場所:札幌市アイヌ文化交流センター、北大等 量・規模・件数等:13講座、122人参加			3 アイヌ文化体験講座 事業内容:アイヌ文様の刺繍講座等 場所:札幌市アイヌ文化交流センター等 量・規模・件数等:10講座			
事業内容・量・場所・規模・件数等	4 インカルシベ・アイヌ民族文化祭 事業内容:ペウレアイヌの集い、シンポジウム、パネル展示、アイヌ民具展示、アイヌ工芸実演、トンコリ大会、ムックリ大会、アイヌミュージックコンサート、エカシ・フチの集い 場所:札幌市アイヌ文化交流センター、市役所本庁舎 量・規模・件数等:7事業、1732人参加			4 インカルシベ・アイヌ民族文化祭 事業内容:ペウレアイヌの集い、シンポジウム、パネル展示、アイヌ民具展示、アイヌ工芸実演、トンコリ大会、ムックリ大会、アイヌミュージックコンサート、エカシ・フチの集い 場所:札幌市アイヌ文化交流センター、市役所本庁舎 量・規模・件数等:7事業			
	達成目標の状況						
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
アイヌ伝統文化の振興			振興	振興	振興	振興	振興
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 本事業のイベント・講座等に市民が参加することにより、アイヌ民族の伝統文化に対する理解が深まる。							
企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] (社)北海道ウタリ協会札幌支部と連携して実施している。 [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 広報誌等による情報提供を強化し、より多くの市民の参加を促す。							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-1-3	事業名	アイヌ伝統文化活動推進事業			
評価(成果)			課題			
<p>各事業への入場者、参加者等について、前年度(18年度)と比較してみると、インカルシペ・アイヌ民族文化祭では、10%程度の減少となったが、交流センター月間イベントには、約3倍の市民が入場し、小中高校生団体体験プログラム参加校は8校増加、参加児童・生徒は微増となった。また、アイヌ文化体験講座は3講座増え、受講者は約6%増加となった。</p> <p>このことは、市民に対する事前の宣伝の効果とアイヌ伝統文化への市民の関心度が高まっていることが考えられる。</p> <p>当該事業は、アイヌ伝統文化を広く市民に紹介し、体験してもらうことによって、アイヌ民族に対する市民の理解が促進され、同民族の誇りが尊重される社会の実現を図るとともに、本市における多様な文化の発展に寄与している。</p>			<p>1 市民の関心や理解を、さらに深めることができるように事業内容を工夫する必要がある。</p> <p>2 事業の周知のための宣伝方法の充実を図る必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>「先住民族の権利に関する国連宣言」が採択され、アイヌ民族の歴史、文化等に対する市民の関心が非常に高まっているなか、現在の事業規模を基本としながら、さらに多くの市民が参加できるような事業を展開する。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	5,064	4,991	4,991	4,954	20,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
予算	事業費	5,064	4,363	-	-	9,427
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	4,582	-	-	-	4,582
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				44.7%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
交流センター月間イベントの減						
[20年度]						